

西部地区社協だより

私たちのまちは私たちの手で！！

西部地区で初めて避難所訓練が行われました！
～箕輪町住民がミニ避難所体験をしました！～

1月26日の避難所勉強会



2月6日の避難所訓練本番



大きな地震が発生すれば、避難所生活をしなければならない可能性があります。避難所生活では、非日常の環境となり、いろいろ問題が起きることが、過去の地震から分ってきました。

そこで、急な避難所生活でも、慌てたりしないですむように、困りごとでもできるだけ少なくできるようにと箕輪町で避難所訓練を開催しました。

1月26日(火)に勉強会を行い、2月6日(土)に本番を行いました。勉強会で避難所での模擬シナリオを作り、本番では、炊き出しに始まり、その後、避難所運営の訓練を順番に行いました。避難所運営訓練では、安否確認、トイレの問題、支援物資の項目ごとに勉強会で出し合ったシナリオに合わせ体験しました。

避難所での生活は、急激な環境の変化で、心身ともに疲労し、きゅうくつでプライバシーも守ることのできにくい状況となります。避難所生活の疑似体験により、避難所生活を垣間見ることが出来、いざというときの心構えができました。

マンションママが安全講習会で学びました！



きずの手当て法に真剣な眼差しです。

12月14日(月)にマンションママの仲間が集まり、安全講習会が開かれました。日本赤十字社の講師から「子どもの事故の予防と手当て」の内容で、きずの手当て法、異物の飲み込み事故の対処法、やけどの手当て法、骨折・脱臼の手当て法などを学びました。

子どもたちのまわりは、危険がいっぱい！一番身近にいる母親が、事故の予防と手当て法を知っておくことが大切です。

福釜町10番組の世代間交流会は地産地消！



おとうさんとペタンペタンお餅つき！

2月21日(日)は、ぽかぽか天気でお栗会館の前では、ちびっ子がお父さんやおばあちゃんと一緒に、杵で初めての餅つきをしました。つくたての柔らかいお餅をきな粉餅、みぞれ餅、草餅にして、みんなでおいしくほお張りしました。

畑では、もみを使って焼いた、ホクホク美味しい焼き芋づくりです。

午後から会館の中では、そば打に汗を流し、みんなで打ったばかりのそばに舌鼓を打ちました。

福釜町10番組では、地産地消の考え方を大切にしています。

旬のものを使って、住

民同士の絆づくり、世代間の交流を行い、食育からも安全で安心な

健康づくり、地域づくりを行っています。



福釜産のそば粉を使ってのそば打ち体験！